



たもんじ 交流農園

2022年5月号



便い Vol.50



やっぱり「土が触りたい！」寺島なす苗配布会開催!!



墨田児童会館食育担当 大石 文

社会福祉法人雲柱社が墨田児童会館の運営に携わって22年になります。私たちが法人の理念の基、職務を全うしてこられたもの偏に地域の皆様のご理解ご協力のおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、5月5日（祝・木）にたもんじ交流農園にて「寺島なす苗配布会」を開催いたしました。天候にも恵まれ約20名の小学生とその保護者が参加し、寺島

なすの歴史から育て方まで丁寧に教えていただきました。申込数は定員20名に対して44名。この数字から、野菜栽培への興味関心の高さがうかがえます。実際、当日の保護者の参加は多く、熱心に耳を傾けていました。

当初の予定では、寺島なす苗の歴史と育て方のレクチャーを受けた後、苗を配布して終了の予定でしたが、急遽、畑で植え付け体験もさせられることになりました。畑に入るのはちょっと緊張した様子だった子ども達も、畝に植え穴を開けてポットから苗を出し、根をほぐし植え穴に植える頃にはもう、畑の虜。自分の苗植えは終わったのに畑から出たがる子はおらず、「もうこれで終わり?」「次はなにをやるの?」とまだまだ畑に居座りたい様子でした。保護者の方も、子どもの作業を目に焼き付けるような熱いまなざしで見守っていました。やっぱり子どもは「土が触りたい!」というのを目の当たりにしました。

墨田児童会館の地域には区内唯一の野菜畑があり、土に触れる経験ができる!児童館でも発信し続けていきたいと思っています。



近隣町会の方にも参加頂きました。



第32回 今、ハマってます!

尾曲さん

(区画04-2⑪)の場合



「今、ハマっています」…は、まさに畑 Life です。始めて2年余り…ですが、去年の夏野菜ではハクビシンにトウモロコシを食べられてしまい対策を立てたり、ブロッコリーは収穫前に青虫君達が大量発生…食べる直前まで「虫?」と確認したりで、全てが順調にいかないところも、楽しい要素なんでしょうね。私が畑 Life に一直線でハマっているのに家族は「…」です。「また畑行くの?」とか「えー」と、かなり温度差があります。でもみんなが「おいしい」と食べてくれるので私のメンタルは保たれています。



もう一つ、ハマっていることは、農園の池付近にもいますが、蛭のお世話です。去年の10月頃から自宅で30匹近くの蛭を育てていました。

